

「都市計画公園のあり方について」

(2) 公園・緑地に関する計画と現状

時代背景 府営公園の主な役割	国・法律	大阪府の施策・計画	
【明治・大正】 公園制度創設 ・遊覧の場、観光地であった箕面山、浜寺が府営公園に指定	明治6年 太政官布達 大正8年 旧都市計画法		住吉・浜寺・箕面
【戦時中～戦後】 空襲対策、食糧不足、失業対策 ・空襲時の避難場所、公園での食糧生産 防空緑地として服部・大泉・久宝寺の整備(訓練施設、田畑)	昭和12年 防空法 昭和21年 自作農創設特別措置法	昭和16年 大阪緑地計画 昭和22年 大阪府営公園緑地公園特殊施設使用条例制定	服部、二色の浜、住之江、長野、枚岡
【高度成長期】 人口急増による都市部の環境悪化 ・都市施設として整備充実 服部・久宝寺の大規模スポーツ施設、浜寺の交通遊園 万博公園の整備	昭和31年 都市公園法 昭和42年 公害対策基本法 昭和43年 新都市計画法 昭和47年 都市公園整備緊急措置法公布 昭和48年 都市緑地保全法	昭和39年 大阪府地域防災計画 昭和42年 大阪地方計画決定 昭和48年 大阪府自然環境保全条例	大泉、久宝寺、万博公園
【昭和50年～】 アメニティ志向(緑豊かな潤いのある環境への志向)、余暇時間の拡大(週休二日制) ・第1回全国都市緑化フェアが服部緑地で開催 ・バブル期に公園整備が進展(蜻蛉池公園、りんくう公園等)	昭和52年 緑のマスタープラン 昭和60年 都市緑化推進計画策定(通達)	昭和59年 大阪緑のマスタープラン 昭和62年 中央環状線「グリーンキャンपी計画」 昭和63年 「花ふる大阪」事業開始(公園事業費の拡大)	山田池、寝屋川、錦織、
【平成】 花博開催、バブル崩壊、阪神・淡路大震災、ボランティア活動、ノーマライゼーションへの転換、生物多様性への配慮 ・阪神・淡路大震災により仮設住宅の受け入れ(服部の野球場) ・ホームレス人口増加に伴う一時収容施設設置(久宝寺・大泉) ・ボランティアの活況、行政提供型から府民参加型が確立 ヒーリングガーデナー養成講座開始、ボランティア要綱 ・公園管理を協会へ、さらに指定管理者制度を導入し、よりサービス提供を重視した管理運営へ展開	平成11年 PFI法 平成15年 社会資本整備重点計画法 平成15年 地方自治法改正(指定管理者制度施行) 平成16年 景観緑三法 平成18年 高齢者、障害者の移動円滑化に関する法律 平成20年 生物多様性基本法 平成25年 長寿化基本計画 平成29年 都市公園法改正 都市緑地法改正	平成 4年 大阪府福祉のまちづくり条例 平成 5年 大阪府公園基本構想 平成11年 大阪府防災公園整備指針 平成12年 生き物とふれあえる都市公園計画 平成15年 グリーンこらぼネット設立 平成21年 みどりの大阪推進計画 平成24年 大阪府都市整備中期計画 平成25年 大阪府都市基盤施設長寿化計画	蜻蛉池、深北、石川河川、りんくう、せんなん里海、 泉佐野丘陵緑地

- 公園は、常に時代背景に沿った社会ニーズの受け皿として機能。
- 近年は、阪神淡路大震災を契機とした防災機能の拡充や府民活動の場、誰もが使いやすい環境など、求められる機能が益々多様化。

【明治・大正】 ～公園の誕生～ 【戦前・戦後】 ～防空緑地～ 【昭和初期】 ～高度成長期～ 【昭和後期】 ～アメニティの充実～ 【平成初期】 ～経済変動・福祉・震災・市民活動～

- 住吉公園
- 浜寺公園
- 箕面公園

- 服部緑地
- 大泉緑地
- 久宝寺緑地

- 住之江公園
- 枚岡公園
- 二色浜公園
- 長野公園

- 山田池公園
- 寝屋川公園
- 錦織公園
- 万博公園

- 蜻蛉池公園
- 深北緑地
- 石川河川公園

- りんくう公園
- せんなん里海
- 泉佐野丘陵緑地

観光

防空

食糧生産

失業対策

レクリエーション

スポーツ

防災

ボランティア

健康

アウトドア

BBQ

文化

環境問題

イベント
(緑化フェア等)

福祉

遊具事故

老朽化

交通戦争

環境学習

生きもの

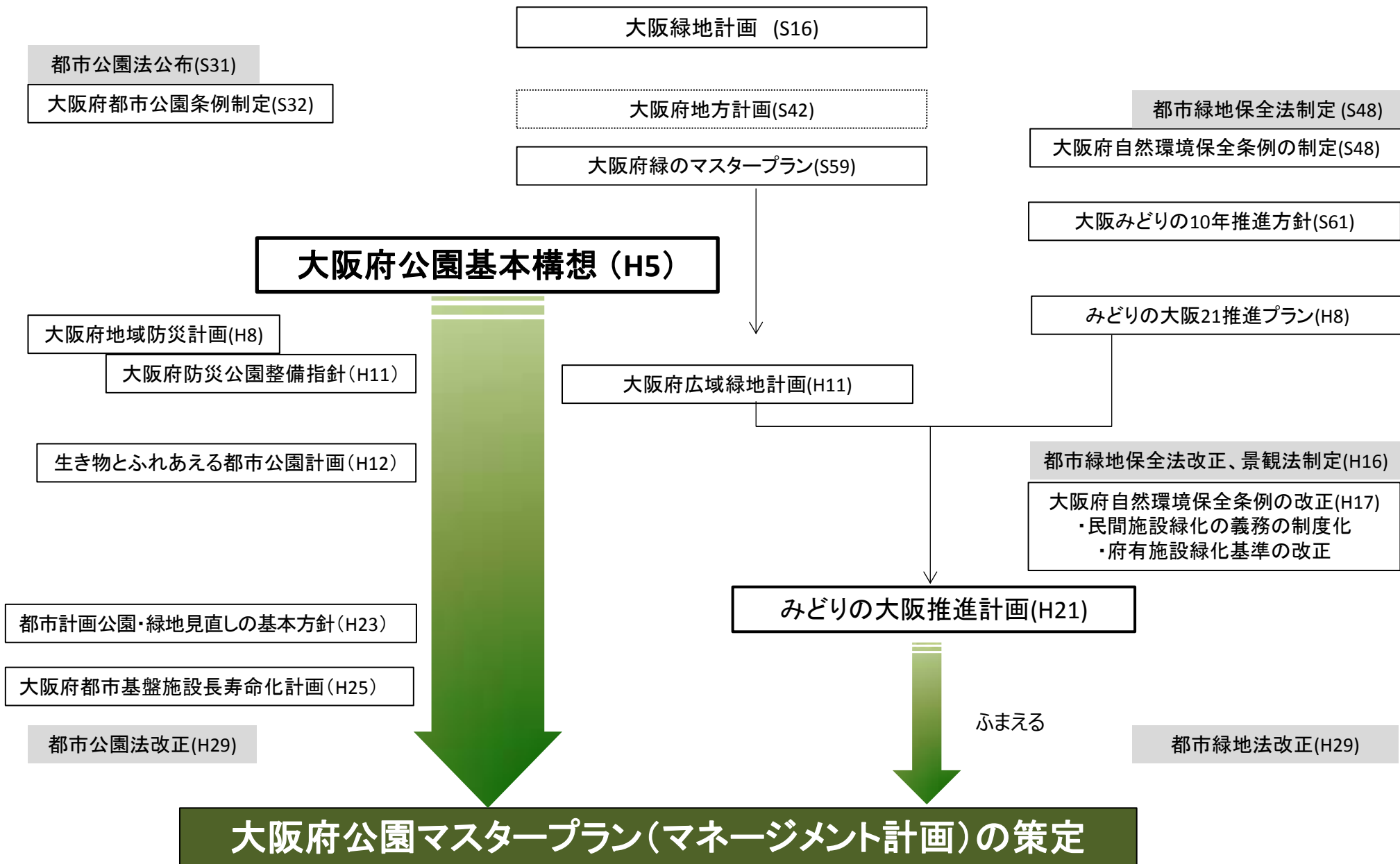
就労

財政難

PFI

(浜寺)駐留地
(服部・住之江)競輪場
(服部)ユースホステル

(浜寺)交通遊園



基本理念

- ①都市の中の公園から、「みどり」の中の都市へ
- ②心と体をはぐくむ公園をめざして
- ③時を超えて生きる公園をめざして

基本方針

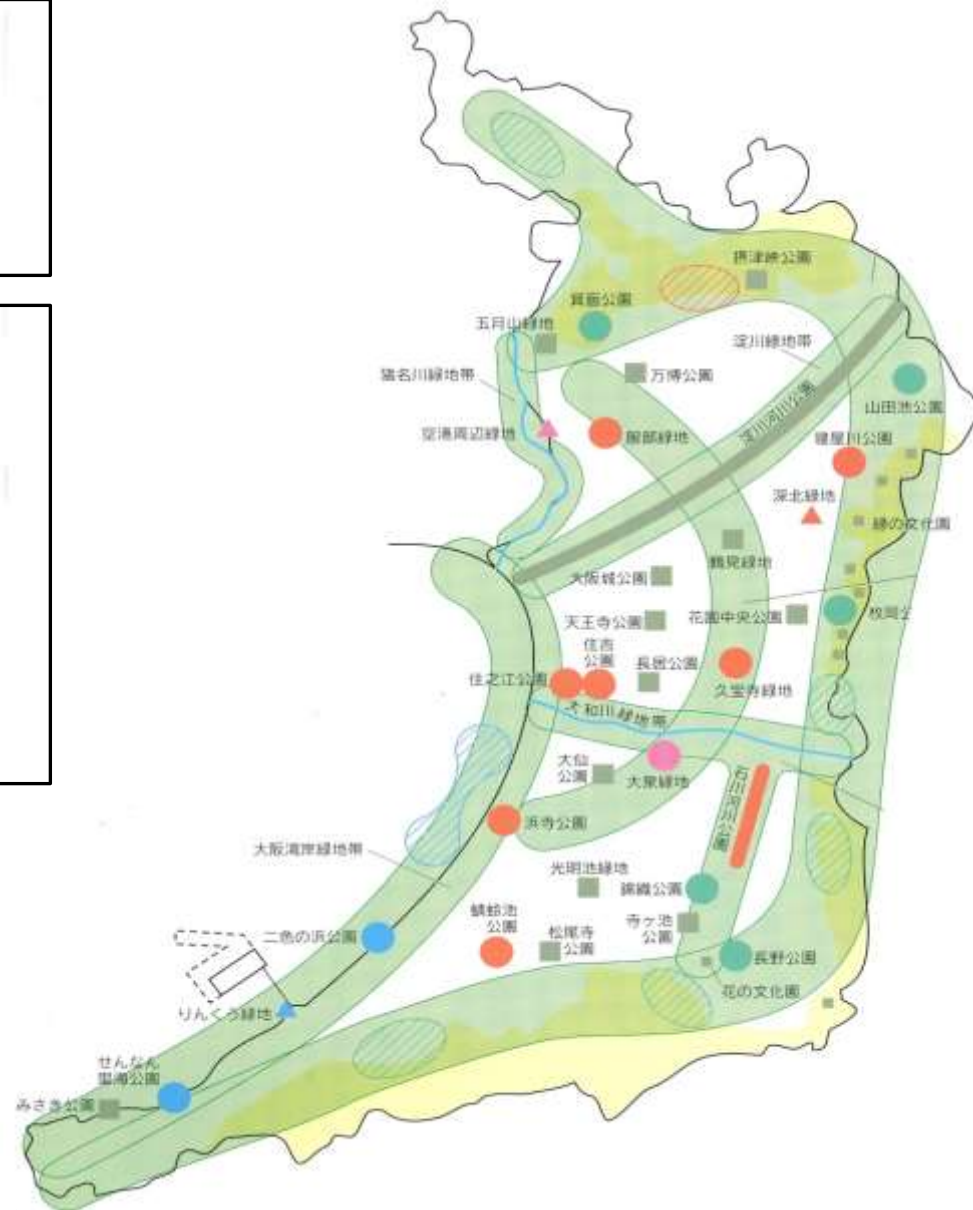
- ①点・線・面の「みどり」のまちづくりをすすめる
- ②大都市地域に自然的大空間をつくる
- ③豊かな生活をはぐくむ公園をつくる
- ④それぞれ個性を持った魅力的な公園をつくる
- ⑤暮らしに息づく公園をはぐくむ
- ⑥「みどり」行政の総合化をめざす

公園を4つに類型化

- ①健康と生きがいを支える公園(総合公園)
- ②山に親しむ公園(風致公園)
- ③海に親しむ公園(海浜レクリエーション公園)
- ④市街地に広大な森林をつくる公園(都市林公園)

将来27ヶ所、面積にして約2,400haの
開設を目指す壮大な構想

※現在、府営公園19ヶ所 995ha(平成29年7月末時点)



出典:大阪府公園基本構想(平成5年11月 大阪府)

【健康と生きがいを支える公園】



- 服部緑地 ○住之江公園 ○寝屋川公園 ○住吉公園
- 深北緑地 ○浜寺公園 ○久宝寺緑地 ○蜻蛉池公園
- 石川河川公園

【海に親しむ公園】



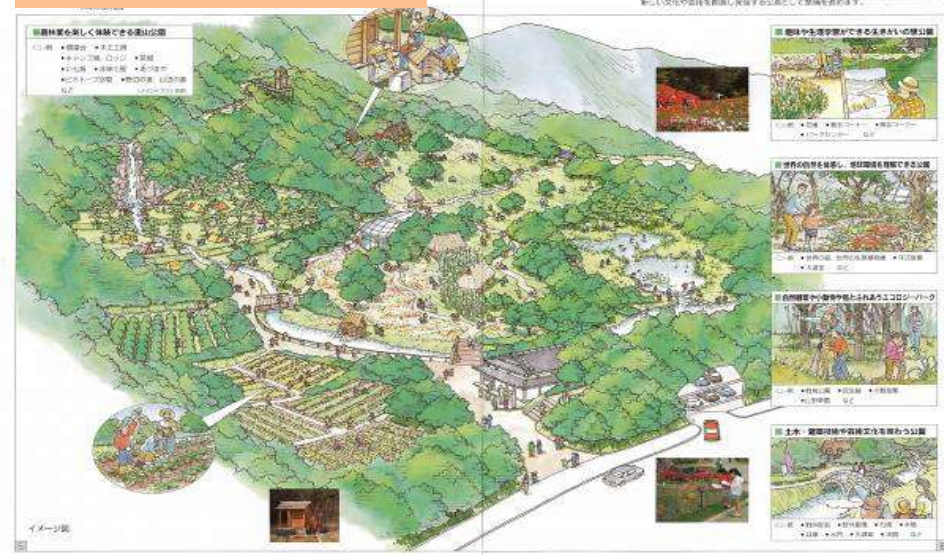
- 二色浜公園
- りんくう公園
- せんなん里海公園

【市街地に広大な森林をつくる公園】



○大泉緑地

【山に親しむ公園】



- 箕面公園 ○山田池公園 ○錦織公園
- 長野公園 ○枚岡公園

健康と生きがいを支える公園 (総合公園)



浜寺公園



住吉公園



深北緑地



住之江公園

山に親しむ公園 (風致公園)



錦織公園



枚岡公園



長野公園



箕面公園

海に親しむ公園 (海浜レクリエーション公園)



二色の浜公園



りんくう公園



せんなん里海公園

市街地に広大な森林をつくる公園 (都市林公園)



大泉緑地

将来ビジョン・大阪

～大阪府の将来像～

- 水とみどり豊かな新エネルギー都市 大阪
- 【みどりの風を感じる大都市 オンリー1】

計画期間： **2025年**

目標

- ◆緑地を府域の**約4割以上**確保
- ◆市街化区域緑被率**20%**
(現況の**1.5倍**)
- ◆みどりがあると感じる府民の割合
(約5割→**約8割**)
- ◆最近みどりに触れた府民の割合
(約4割→**約8割**)

基本戦略-1：

みどり豊かな自然環境の保全・再生

基本戦略-2：

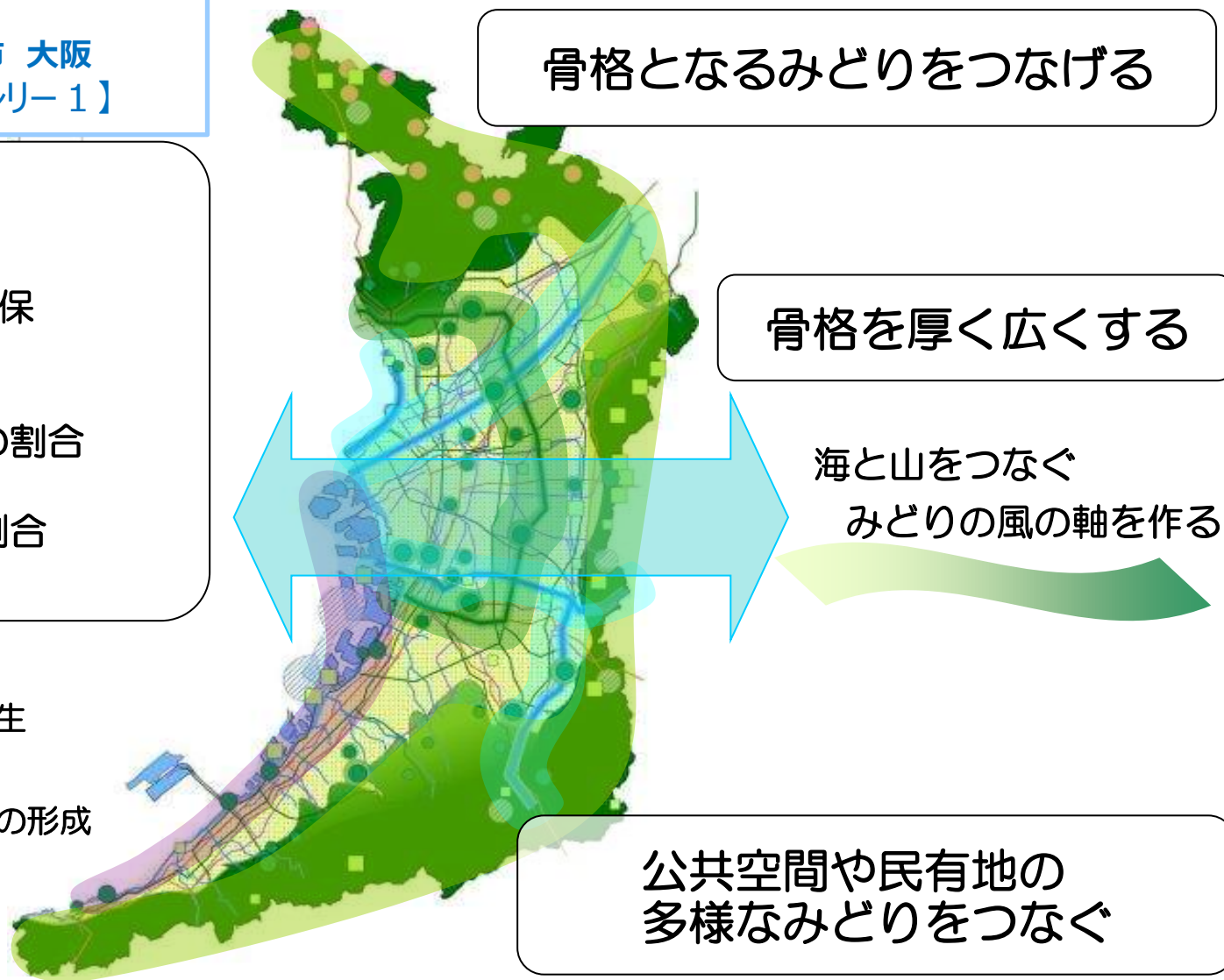
みどりの風を感じるネットワークの形成

基本戦略-3：

街の中に多様なみどりを創出

基本戦略-4：

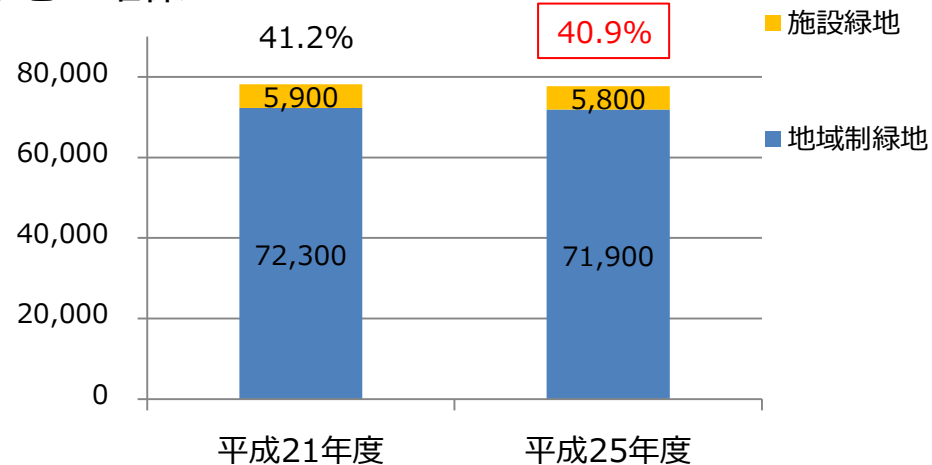
みどりの行動の促進



緑地の現況



緑地の確保

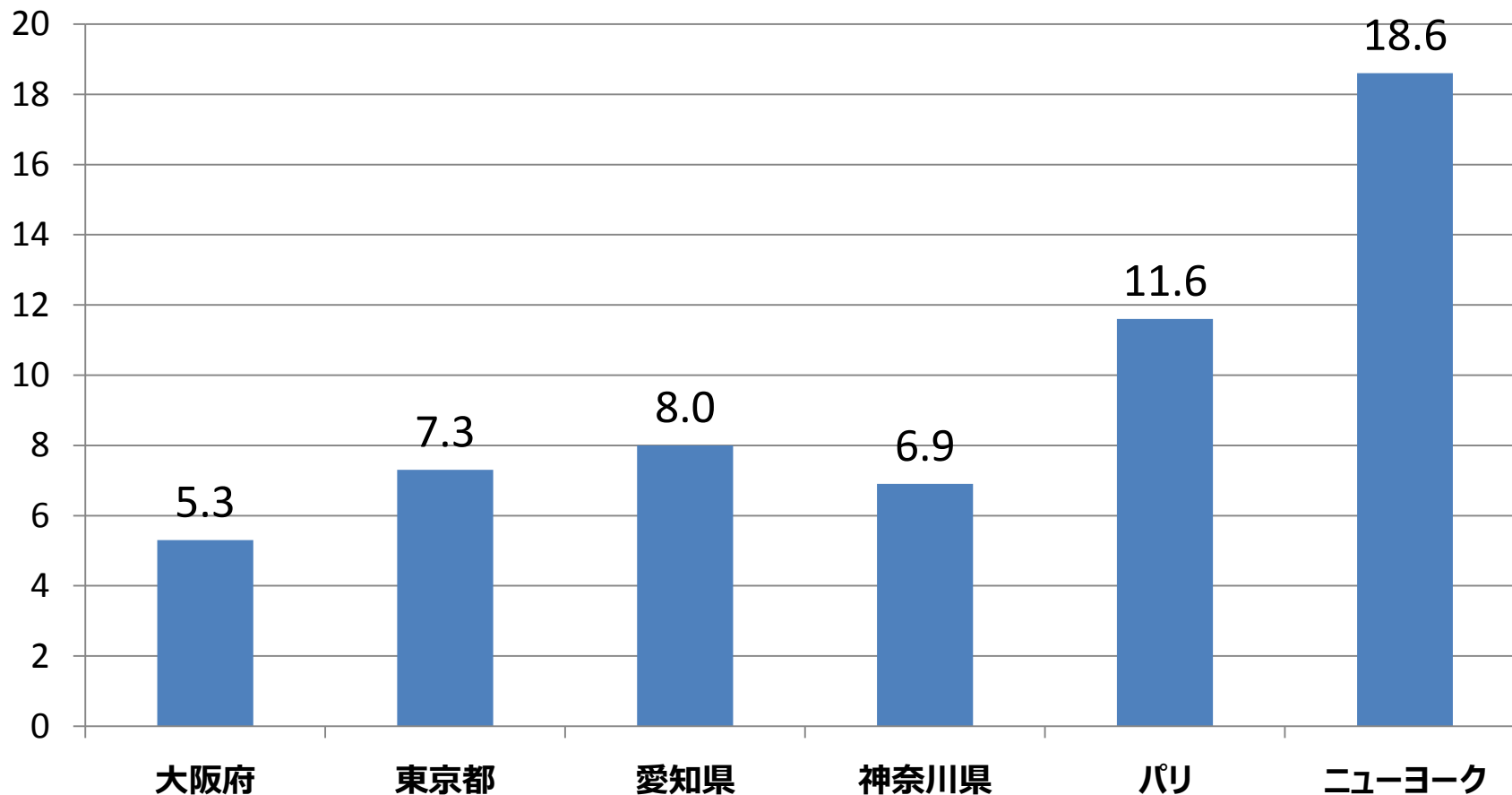


- 北摂山系、金剛生駒山系は、都心からおよそ 30km 圏以内に存在し、都心と山林が近接。
- 「緑地」(地域制緑地、施設緑地)の府域面積に対する割合は減少傾向だが約4割を維持。

公園の現況①

【一人当りの都市公園面積】

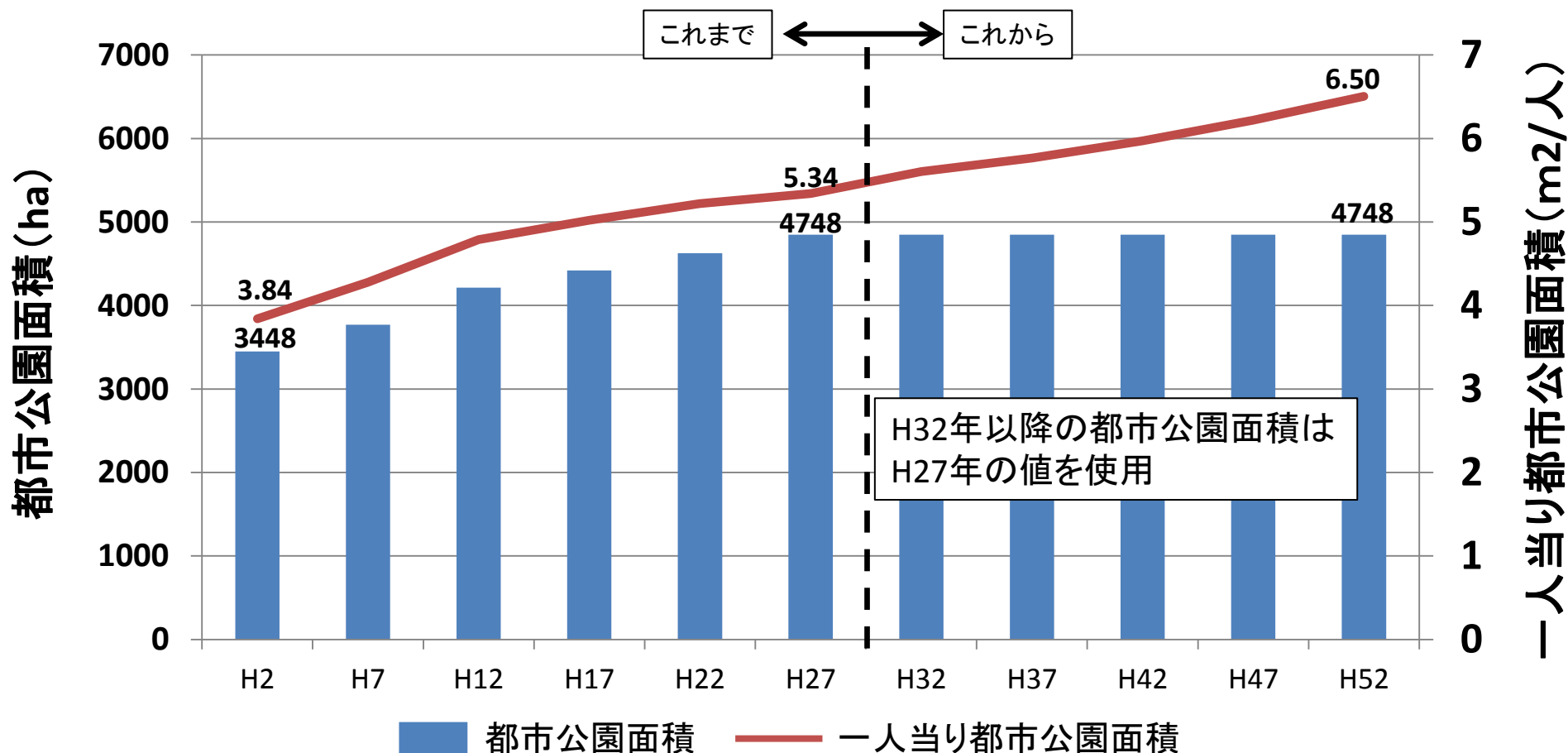
(m²/人)



出典：平成 27 年度末都市公園等整備及び緑地保全・緑化の取組の現況(速報版)の公表について／国土交通省／H29.2

公園の現況②

【都市公園面積及び一人当たり都市公園面積の推移（大阪府）】



- 都市公園の総面積は、25年で1.4倍に増加（H2⇒H27、伸び率=5.2m²/年）
- 一人当たり都市公園面積は、人口減少に伴い1.2倍に増加（H27⇒H52）